

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
政策名	総合計画体系 (Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	維持管理G	課長名	日野 誠
施策名	(07)道路網の整備	担当者名	昌子 真二	電話番号 (内線)	0854-40-1061 3731
基本事業名	(019)道路の補修・維持管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 410 110 110 011	道路維持補修事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	各センター毎に実施する。 ①舗装、ガードレール等道路施設の破損等に関する情報受付。 (自治会、土木委員、道路利用者等からの通報) ②現地確認 ③ 直営、業者委託等による修繕作業の実施。 ④予算執行:作業員 賃金、資材費、作業委託費等の修繕経費の支出。	道路管理者となった時点より、維持管理が発生。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
センターH23年度事業費 51,222千円	事業内訳	国庫支出金 千円 120,127		95,500			
平成22年度 きめこまやか交付金事業からの繰り越し 95,500千円。		県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円 63,470	51,344	51,222	55,345		
		事業費計(A) 千円 183,597	51,344	146,722	55,345	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数 人 27	27	27			
センター・本庁業務時間の積上げ		延べ業務時間 時間 520	520	500			
		人件費計(B) 千円 1,983	2,022	1,971	0	0	
		トータルコスト(A)+(B) 千円 185,580	53,366	148,693	55,345	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	6センター毎の道路維持修繕事業の実施	ア 修繕要望箇所	件	1600	960	1300	800	1000	1000
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 修繕実施箇所		1120	489	845	520	750	900
	前年度と同様	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	・市道利用者 ・雲南市道(センター事業管理課では、市道 以外の農道、林道も含め管理)	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 雲南市市道総延長	km	1120	1120	1120	1120	1120	1120
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	地域住民、市民などの道路利用者が安全、 快適な道路使用できる状態。	ア 必要箇所に対する修繕実施率	%	70	51	65	65	75	90
		イ							
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア 生活道路が安全で便利だと感じる割合	%	58.9	57.1	55.7	59.5	59.7	60
		イ 道路改良延長	m	635,837	642,833	644,180	645,300	656,850	

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比 べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
雲南市の道路維持経費は、類似団体の約半 分程度となっているため、地域からの修繕や改 善要望に対して充分応えることが出来ない。安全 確保のため必要性が高いものから順に補 修、修繕作業を行っている。	予算的制約から要望に対する維持補 修の実施は十分行き届いていない。維持 を怠ると、安全性の後退だけではなく、 抜本修繕時期が早まり、後の経費 負担の増大等の悪循環が生ずるため 改善を求めている。	危険箇所等多数の改善要望。

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 市道は、道路法に基き雲南市が管理すべき道路である。この道路の快適性、安全性の確保は、市の政策施策体系と一致している。合わせて、維持管理は、市の管理する道路財産の耐用年数の延長に伴う、経費削減の視点からも重要。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 雲南市が管理のもと、道路修繕事業が実施されている。今後とも道路管理者の義務として修繕計画の作成、発注、指示など市が関与することは不可欠。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 雲南市が管理者となっている市道、農道、林道等の道路について、各センターを通じ維持管理が行なわれており、対象と意図は、適切と判断できる。(但し、修繕予算費の確保が課題で修繕要望箇所に対する実施率向上が課題となっている)
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 合併後、類似団体の約半分の予算で道路維持補修を実施している。そのため、地域の要望に対し、安全快適性が確保できない状態が発生している。類似団体並の修繕予算の確保により、成果向上を図ることが求められている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止すれば、道路管理者が無関与のまま、前述した安全面の後退や、財産としての道路施設の老朽破損が進む。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 市道、林道、農道の日常修繕業務は、センター事業管理課が一括対応しており、既に統合の形態が取られている。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 舗装、ガードレール等の修繕等、技術や機械設備を要する業務は、今後も業者委託が基本となる。一方、路肩除草等で、地域団体へ協力を求める事が可能なものは、愛護助成金等の拡充を図りながら、地域団体の合意と協力を得て、ボランティア愛護方式や地域への委託方式への移行を検討する。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ⑧ 舗装、ガードレール等の修繕等、技術や機械設備を要する業務は、今後も業者委託が基本となる。一方、路肩除草等で、地域団体へ協力を求める事が可能なものは、愛護助成金等の拡充を図りながら、地域団体の合意と協力を得て、ボランティア愛護方式や地域への委託方式への移行を検討する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 公道の維持管理業務であり、一部の受益者に偏った事業実施ではない。特に、旧町村間の修繕実施状況のバラツキが生じないよう、6センター間の予算配分の際、道路延長、交通量、積雪補正等の状況を勘案し、予算配分の面でも業公平、公正が保たれるよう配慮を行っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	機械設備を要する修繕は、今後も業者委託が基本となるが、草刈り等の軽微な道路維持は、愛護助成金等の拡充を図りながら、ボランティア愛護方式や地域への委託方式への移行を進める。また、類似自治体に即した適切な修繕費を確保することが、安全な道路の維持と長期的な修繕費の圧縮にも結び付くと判断できる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下	×		×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下	×		×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
課題 : 類似自治体に準じた維持費の確保。 解決策 : 新市建設計画に沿った財政運用による予算確保。																							